

財政資金対民間収支（令和6年10月中見込）

令和6年10月は、年金の定時払等がある一方で、消費税・源泉所得税等の受入があり、また、国債等が受入超過であることから、総収支は、2.0兆円の受入超過となる見込み（前年同月比2.9兆円の受入超過幅の減少）。

（主な受入日）
法人税、消費税等の租税、保険料の受入・・・2日
源泉所得税の受入・・・15日

（主な支払日）
後期高齢者医療給付費等負担金の支払等・・・15日
年金の定時払・・・15日

●収支戻：総計2.0兆円の受入超過

（単位：億円）

区分	見込	前年同月	前年同月比	備考
(1) 一般会計	6,890	7,224	△ 334	
租税	48,940	44,744	4,196	消費税・源泉所得税等の受入
税外収入	1,250	1,334	△ 84	
社会保障費	△ 19,060	△ 17,038	△ 2,022	後期高齢者医療給付費等負担金の支払等
地方交付税交付金	2,100	2,061	39	
防衛関係費	△ 4,720	△ 3,590	△ 1,130	
公共事業費	△ 2,430	△ 2,414	△ 16	
義務教育費	△ 950	△ 933	△ 17	
その他支払	△ 18,240	△ 16,940	△ 1,300	エネルギー価格激変緩和対策事業費補助金の支払等
(2) 特別会計等	△ 50,760	△ 53,768	3,008	
財政投融资	1,580	1,382	198	
外国為替資金	-	570	△ 570	
保険	△ 49,390	△ 53,152	3,762	年金の定時払等
その他	△ 2,950	△ 2,567	△ 383	
(3) 小計 (1+2)	△ 43,870	△ 46,545	2,675	
(4) 国債等	101,340	110,429	△ 9,089	
国債（1年超）	101,240	110,729	△ 9,489	
借入金	100	△ 300	400	
(5) 国庫短期証券等	△ 37,830	△ 14,079	△ 23,751	公募発行見込額 約24.5兆円
国庫短期証券	△ 37,830	△ 14,079	△ 23,751	内訳：3ヶ月 約4.6～4.7兆円×1回 約4.3～4.4兆円×3回 6ヶ月 約3.5～3.6兆円×1回 1年 約3.2兆円×1回
一時借入金	0	△ 0	0	
(6) 小計 (4+5)	63,510	96,350	△ 32,840	
(7) 合計 (3+6)	19,640	49,805	△ 30,165	
(8) 調整項目	10	△ 1,070	1,080	
(9) 総計 (7+8)	19,650	48,736	△ 29,086	

- （注） 1. 国庫短期証券の公募発行見込額は、今後の国庫の資金繰りの状況等により変更となる場合がある。
2. 「見込」及び「前年同月」の△印は支払超過を示す。
3. 見込については、10億円単位でとりまとめている。
4. 前年同月については、億円未満を四捨五入しており、計において一致しない場合がある。

- （参考） 1. 日本銀行が国庫短期証券売買オペによって取得した国庫短期証券のうち、償還期日が到来するものの償還額は次のとおりであり、これは対民間収支には計上されない（繰上償還額及び対政府等売却額は控除していない）。

日銀売買オペ分償還額	見込	前年同月	前年同月比
	600	921	△ 321

2. 令和6年11月の国庫短期証券の公募発行見込額は次のとおりである。
3ヶ月 約3.3～5.3兆円 × 4回
6ヶ月 約2.5～4.5兆円 × 1回
1年 約2.2～4.2兆円 × 1回